

内令提
登載

内令第九百二號 (後送ス)

内令第九百三號

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定メラル

昭和十八年九月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

呂號第四十四潜水艦

内令第九百四號

海軍定員令申左ノ通改正セララル

昭和十八年九月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

二等潜水艦定員表其ノ一中「第四十二」ノ下ニ「第四十四」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ六八頁参照)

内令

一九四七

0189

内令提
要
登
載

内令

一九四八

内令第千九百五號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年九月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十七中「第四十二」ノ下ニ「、第四十四」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三三頁参照)

0190

内令
要登載

内令第九百六號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年九月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

二等潜水艦定員表共ノ二中「第百十一」ノ下ニ「第百十二」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ七〇頁参照)

内令第九百七號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年九月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表共ノ十七中「第百十一」ノ下ニ「第百十二」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三三頁参照)

内令

一九四九

0191

内令
登載

内令

内令第九百八號

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

昭和十八年九月十四日

呂號第一百十二潜水艦

海軍大臣 嶋田繁太郎

一九五〇

0192

内令〔第千九百九十九號〕
〔第千九百十號〕
(所要ノ向ニ配付ス)

内令第千九百十一號

大東亞戰爭中護衛船團見張員ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

鎮海警備府

兵 曹 二人(掌信號兵)

水 兵 二十二名

第一海上護衛隊司令官

兵 曹 四人(掌信號兵)

水 兵 四十四名

第二海上護衛隊司令官

兵 曹 三人(掌信號兵)

水 兵 三十三名

内令

一九五五

0193

内令

一九五六

内令第千九百十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一輸送隊(機帆船及舟艇乗員ニ充ツベキモノ)

水 兵 百人(内吳鎮守府在籍者 二〇)

機 關 兵 五十人(内吳鎮守府在籍者 一〇)

第二輸送隊(機帆船及舟艇乗員ニ充ツベキモノ)

水 兵 九十人(内吳鎮守府在籍者 二〇)

機 關 兵 四十五人(内吳鎮守府在籍者 一〇)

内令第千九百十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第千五百九號中「四十人(掌電信兵 二五)」ヲ「三十四人(掌電信兵 一九)」ニ改ム

0194

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第九警備隊

兵 曹、水 兵

六人（掌電信兵）（吳鎮守府在籍者）

参照 昭和十八年内令第千五百九號ハ第一航空艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千九百十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十八年九月十一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年内令第千五百九十三號ハ之ヲ廢止シ昭和十八年九月十一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一根據地隊司令部（防空幹部員ニ充ツベキモノ）

中 少 佐 附 一人

大 中 尉（水） 附 一人

内 令

一九五七

0195

内令

一九五八

中少尉(水)、兵曹長 附 四人

兵 曹 十五人

水 兵 七十人
(掌電信兵八
其ノ他特修兵適宜)

主 計 兵 二人

本人員中特務士官以下ハ吳鎮守府在籍者ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

参照 昭和十八年内令第五百九十三號ハ館山海軍砲術學校(第一根據地隊防空幹部員ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナ

内令第千九百十五號

補充兵、第二國民兵教育ニ充ツル爲左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀第一海兵團

吳海兵團

佐世保第一海兵團

0196

<p>兵曹、機關兵曹 (教員) 十人 舞鶴海兵團 兵曹、機關兵曹 (教員) 五人</p>	<p>内令第九百十六號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス 昭和十八年九月十五日 海軍大臣 嶋田繁太郎</p> <p>佐世保鎮守府 軍醫 大佐 出仕 一人</p>	<p>内令第九百十七號 昭和十七年内令第九百九號申左ノ通改正ス 昭和十八年九月十五日 海軍大臣 嶋田繁太郎</p>
--	---	--

内令

一九五九

0197

内令

人員ヲ左ノ如ク改ム

兵	主計中少尉(主)	衛生中少尉、衛生兵曹長	特務士官(水)、(機)	技師	主計科尉官	主計科佐官	軍醫科佐尉官	軍醫科佐官	技術科尉官	兵科、技術科佐官	兵科、技術科大佐	中少將
曹	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附
二人	一人	一人	六人	兼臨時 二人	三人	兼務 一人	二人	兼務 一人	兼務 十五人	五人	兼務 一人	一人

一九六〇

0198

衛生兵曹 三人
書記 附 臨時八人
技手 附 臨時十五人

參照 前記内令ハ高雄眷備府(臺灣燃料廠(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第九百十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊海軍工作部

衛生兵曹、衛生兵

一人

内令第九百十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第七百九十六號中「阿賀野」ノ下ニ「鬼怒」ヲ加フ

内令

一九六一

0199

内令

一九六二

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦 鬼怒

兵 費、水 兵

十二人

(撃砲兵 高) (撃測的兵 高)

参照 昭和十八年内令第七百九十六號ハ軍艦木曾等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第九百二十號

内令
登載

昭和十四年内令第八百七十號特設水雷母艦首里丸職員表中左ノ通改正シ昭和十八年九月十日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

〔軍醫科尉官 一〕ヲ

〔軍醫科尉官 主計科尉官 一〕ニ改メ

〔主計特務中少尉 一〕ヲ削ル

参照 前記内令ハ特設水雷母艦首里丸等ノ職員表ヲ定ムルノ件ナリ(内令提要卷一、四六三頁)

0200

内令
登載

内令第九百二十一號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時減員ス

昭和十八年内令第三百六號中「主計中少尉(主) 附三人」ヲ「主計中少尉(主) 附二人」ニ改ム

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

主計中少尉(主) 附(乘組)一人 ヲ減員スベキモ		學 校	軍醫學校、横須賀砲術學校 水雷學校、機雷學校、横須賀通信學校 航海學校、工作學校
海軍航空隊	相模野、追濱、洲ノ崎、横須賀	海軍航空技術廠、第一海軍航空廠、第二海軍航空廠	海軍運輸部支部
軍艦	磐手、八雲、出雲		
特設巡洋艦	栗田丸、赤城丸、淺香丸、清澄丸、愛國丸、護國丸		
特設運送艦	讚岐丸		

内令

一九六三

0201

内令

		主計兵曹長一人 ヲ減員スベキモ		主計中少尉(主) 附二人ヲ減員ス ベキモノ	
特設巡洋艦	特設水雷母艦	特務艦	軍艦	海軍航空隊	
西貢丸	日本海丸	室戸、知床、襟裳、佐多、尻矢、鶴見、石廊、早鞆、鳴戸、隠戸、大瀬、洲崎、高崎、風早	能登呂 巖島	鹿島、北浦、筑波、谷田部、百里原、出水、大分、宇佐、大村、博多、小松島、高雄、臺南、新竹、大井、相模野、追濱、洲ノ崎、土浦、三重、鹿児島、横須賀、岩國、鹿屋、厚木、豊橋、第二〇一、第二五三、第七〇五、第二八一、第七五一、第七五三、第七五五、第八〇一、第八五一、第二〇四、第七〇二、第七五二、第八〇二、第九五二、第九五八	第一海軍軍需部 第一海軍經理部
				海軍工機學校	

一九六四

0202

主計兵曹長二人 ヲ減員スベキモ	特設掃海母艦	永興丸
	特設敷設艦	高榮丸、新興丸
	特設砲艦	浮島丸
		鈴鹿海軍航空隊

参照 昭和十八年内令第三百六號ハ海軍艦政本部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第九百二十二號

昭和十八年九月十五日

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十四航空戰隊司令部

兵曹、水兵 八十七人
横須賀鎮守府在籍者 一八
 吳鎮守府在籍者 二
 佐世保鎮守府在籍者 三
 舞鶴鎮守府在籍者 三

整備兵曹、整備兵 三十六人

内令

一九六五

0203

内令
登載

内令

一九六六

機關兵曹、機關兵
 特修兵ハ適宜トス
 三十七人
横須賀領守府在籍者 一
 呉保領守府在籍者 一
 佐世領守府在籍者 一
 舞鶴領守府在籍者 一
 五一六五

第四十一航空基地隊
 兵 曹、水 兵
 四十四人
横須賀領守府在籍者 一
 呉保領守府在籍者 一
 佐世領守府在籍者 一
 舞鶴領守府在籍者 一
 二四三〇

整備兵曹、整備兵
 二十三人
横須賀領守府在籍者 一
 呉保領守府在籍者 一
 佐世領守府在籍者 一
 舞鶴領守府在籍者 一
 二七四三

機關兵曹、機關兵
 十三人
横須賀領守府在籍者 一
 呉保領守府在籍者 一
 佐世領守府在籍者 一
 舞鶴領守府在籍者 一
 五六二

特修兵ハ適宜トス

内令第九百二十三號

昭和九年内令第四百十六號別冊艦艇、特務艦艇機關使用限度標準表中別表ノ通改正ス
別表ハ海軍省軍務局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

○正誤

本年内令第七百六十四號中「内令第八百六十四號」ハ「内令第八百四十六號」ノ誤

0204

内令

主計兵曹、主計兵

十人

一九六八

内令
要登載

内令第九百二十五號

昭和十八年内令第十一號航空基地管理ニ關スル件中左ノ通改正ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

香取航空基地ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

茂原航空基地

第五〇二海軍航空隊

(内令提要卷一、三〇ノ四一頁参照)

内令
要登載

内令第九百二十六號

昭和十七年内令第二千七號特設海軍航空隊定員表等ノ件中左ノ通改正ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0206

内令提
要登載

特設海軍航空隊定員表其ノ二ノ二中「別表第二ノ二」ヲ「別表第二ノ三」ニ、「其ノ二ノ二」ヲ「其ノ二ノ三」ニ改ム

特設海軍航空隊定員表其ノ二ノ二ヲ別表ノ如ク定ム

特設海軍航空隊特修兵配置表中第四五二ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第五〇二	一/二
	一/二
	一/二
	三/六
	四/六
	三/四
	七/六
	〇
	二/四
	一/四
	四/九
	一/二
	一/二
	一/四
	一/二
	二/三
	二/三
	四/六
	二/三
	一/一
	五/九
	三/六
	二/五
	四

同表備考第一號中

第二五二	3
ヲ	
第二五二	3
第五〇二	1

ニ改ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、四六〇ノ二頁参照)

内令第九百二十七號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セラル

内令

一九六九

0207

内令

一九七〇

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設警備隊定員表其ノ六中「第三十二表ノ七」ヲ「第三十二表ノ六ノ二」ニ、「其ノ六」ヲ「其ノ五ノ二」ニ改ム

特設警備隊定員表其ノ六ヲ別表ノ如ク定ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、五六二ノ一三頁参照)

0208

内令第九百二十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第九百六十七號横須賀防備隊ノ部中「主計兵曹 一人(掌經理兵)」ヲ削ル

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀防備隊

主計兵曹、主計兵

十五人(掌經理兵 三)

参照 昭和十六年内令第九百六十七號ハ横須賀防備隊等ノ人員臨時減員ノ件ナリ

内令第九百二十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八根據地隊司令部

兵曹長

一人(吳鎮守府在籍者)

内令

一九七一

0211

内令

一九七二

兵 曹

八人(特修兵適宜)(横須賀鎮守府在籍者 一七)
佐世保鎮守府在籍者 一七)

内令第千九百三十號

昭和十七年内令第千三百五號第百二海軍軍需部中「臨時三人」ヲ「臨時六人」ニ改ム

昭和十八年内令第五百六十一號中「臨時三人」ヲ「臨時六人」ニ改ム

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照

昭和十七年内令第千三百五號ハ第百一海軍軍需部等ニ人員臨時増置ノ件
昭和十八年内令第五百六十一號ハ第四海軍軍需部等ニ人員臨時増置ノ件

内令第千九百三十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第百十七號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0212

第四海軍工作部

技術科尉官 部員兼検査官 一人

第四海軍軍需部

技術科尉官 部員 兼務一人(第四海軍工作部部員ノ兼務)

参照 昭和十八年内令第百十七號ハ第二海軍工作部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千九百三十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍工廠(横須賀海軍工廠川崎分工場設立準備ニ充ツベキモノ)

技術大佐 出仕 一人

内令第千九百三十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

一九七三

0213

内令

一九七四

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三海軍燃料廠(鹿兒島分工場(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ)

少	將	出仕	一人
大	佐	出仕	一人
兵科、技術科中少佐		出仕	一人
兵科、技術科佐尉官	出仕		二人(技師(臨時)ヲ以テ充ツル _ト 得)
書	記	附	臨時一人
技	手	附	臨時三人

内令第九百三十四號

昭和十八年内令第八百二十五號中「兵科佐尉官 隊附 四人」ヲ「兵科佐尉官 隊附 五人」ニ、
「兵科佐尉官 附 五人」ヲ「兵科佐尉官 附 六人」ニ、「兵科佐尉官 附 六人」ヲ「兵科佐尉
官 附 七人」ニ改ム

昭和十八年内令第六百五十二號ハ之ヲ廢止ス

0214

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 昭和十八年内令第千六百五十二號ハ第十期補修學生教育期間海軍經理學校ニ人員臨時増置ノ件
同 年内令第千八百二十五號ハ旅順方面特別根據地隊等ニ人員臨時増置ノ件

○正誤

本年内令第千八百八十九號表中「コスカ」ハ「ヨカス」ノ誤

内令

一九七五

0215

内令提
要登載

内令第九百三十五號(添)所要ノ向ニ配付ス

内令第九百三十六號

驅逐隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四驅逐隊ノ項中「舞風」ノ下ニ「山雲」ヲ加フ

(内令提要卷一、六八頁参照)

内令提
要登載

内令第九百三十七號

潜水隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十四潜水隊ノ項中「伊號第二十九」ヲ削ル

第十五潜水隊ノ項中「伊號第三十四」ヲ削ル

内令

一九七九

0216

内令

(内令提要卷一、七〇頁参照)

一九八〇

内令提
要登載

内令第九百三十八號

第四十四號驅潛特務艇

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定ム

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提
要登載

内令第九百三十九號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第三十五號(横)」ヲ削リ「第四十三號(横)」ノ次ニ「第四十四號(横)」ヲ加フ

佐伯防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第三十四號(吳)、第四十號(吳)」ヲ削ル

0217

内令據
要登載

佐世保防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第四十二號(佐)」ヲ削ル
第三特別根據地隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第五特別 根據地隊		第三十五號(横)			
--------------	--	----------	--	--	--

第三十二警備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第三十九號(佐)」ノ次ニ「第四十二號(佐)」ヲ加フ
第八十一警備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第三十一號(吳)」ノ次ニ「第三十四號(吳)、第四十號(吳)」
ヲ加フ

參照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令第九百四十號

汽 船 りおでぶやねろ丸

右特設潜水母艦トシ佐世保鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

昭和十八年九月十五日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

内 令

一九八一

0218

需部ノ項第八欄ニ「一」ヲ、同項ノ次ニ	
横須賀海軍 經理部	一
航空隊ノ項ノ次ニ	
第五〇二 海軍航空隊	一
吳鎮守府ノ部中吳海軍軍需部ノ項第八欄ニ「一」ヲ、第二警備隊ノ項ノ次ニ	
第七警備隊	四
佐世保鎮守府ノ部中佐世保海軍軍需部ノ項第八欄ニ「一」ヲ、同項ノ次ニ	
佐世保海軍 經理部	一
ねろ丸ノ項ヲ削ル	
舞鶴鎮守府ノ部中舞鶴海軍軍需部ノ項ノ次ニ	
舞鶴海軍 經理部	一
ヲ、第二〇四海軍	
ヲ加フ	
ヲ加フ	
ヲ加ヘりあてぞや	
ヲ、大瀬ノ項ノ次	

内 令

一九八三

0220

内令

一九八四

ニ		
沖波	濱波	巻波
一	一	
一	一	一

ヲ加フ

備考第八號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

九 海軍航空技術廠ノ主計科分隊長ハ飛行機部部員兼科學部部員飛行實驗部部員推進機部部員會

計部部員ニ充ツルモノトス

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

内令第九百四十三號

戰時編制實施中艦隊等ノ司令部附タル特務士官以下ノ補充鎮守府ノ件申左ノ通改正ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府ノ部中

第三潜水戦隊

ヲ削ル

0221

(内令提要卷一、六六八ノ九頁参照)

○正誤

本年内令第八百六十三號中「衛生隊」ハ「衛所隊」ノ誤

内令

一九八五

0222

内令第九百四十四號

昭和十七年内令第二千四百五十一號中左ノ通改正ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

兵 曹、水 兵

十三人(掌砲兵^高_普)

参照 前記内令ハ軍艦未會ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第九百四十五號

昭和十八年内令第五十三號中左ノ通改正ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「衛生兵曹、衛生兵 三人」ヲ「衛生兵曹、衛生兵 四人」ニ改ム

参照 前記内令ハ第八海軍軍需部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内 令

一九八七

0223

内令第九百四十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時減員ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十四特別根據地隊

中少尉(水)、兵曹長

附

三人

兵 曹、水 兵

百四十八人

衛生兵曹、衛生兵

四人

主計兵曹、主計兵

五人

内令

一九八九

0224

内令第九百四十七號

昭和十八年内令第九百六十二號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

參照 廢止内令ハ南西方面艦隊司令部（伊國特務艦カリテヤ號ノ乗員ニ充ツベキモノ）ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

一九九一

0225

内令第九百四十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第九百四十三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年九月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍艦政本部

大 佐 出仕 一人(兼第百二海軍工作部部員造船監督官)

主計科尉官 出仕 一人(兼第百二海軍工作部部員又ハ副部員)

書 記 附 臨時一人(兼第百二海軍工作部附)

第二南遣艦隊司令部

大 佐 附 兼務一人(海軍艦政本部出仕ノ兼務)

參照 昭和十八年内令第九百四十三號ハ第二南遣艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内 令

一九九三

0226

内令提
要登載

内令〔自第九百四十六號
至第九百四十八號〕

(後送ス) 済

内令第九百四十九號

海軍施設本部處務規程中左ノ通改正ス

昭和十八年九月十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五條 總務部第一課ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 各部ノ事務ノ綜合統一ニ關スルコト
- 二 築城施設及一般施設ニ關スル土木建築(以下築城及一般施設ト稱ス)ノ一般事項ニ關スルコト
- 三 築城及一般施設關係出師準備計畫ノ一般事項ニ關スルコト
- 四 築城及一般施設關係總動員計畫ノ一般事項ニ關スルコト
- 五 施設本部ノ人事及庶務ニ關スルコト
- 六 施設系技術科士官以下ノ教育及本務ノ一般事項ニ關スルコト

内令

一九九五

0227

- 七 設營隊ノ準備及裝備ニ關スルコト
 - 八 施設系勞務者ノ徵用及募集ニ關スルコト
 - 九 施設系勞務者ノ教育、思想善導、取締、救恤、福祉、勤務組織其ノ他勞務一般ニ關スルコト
 - 十 海軍施設部ノ工場衛生ニ關スルコト
 - 十一 海軍施設本部工場ノ勞務及取締ニ關スルコト
 - 十二 統計及年報材料ニ關スルコト
 - 十三 前各號ノ外他ノ課ノ所掌ニ屬セザル事項ニ關スルコト
- 第六條 總務部第二課ハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 築城及一般施設ノ經費ノ調査及整理ニ關スルコト
 - 二 土地、立木竹、建物、工作物(有線通信裝置ヲ除ク)、地上權及地役權タル國有財産ノ管理及取扱ニ關スルコト
 - 三 築城及一般施設用資材及機械ノ準備及供給ニ關スルコト
 - 四 契約要求ニ關スルコト
 - 五 築城及一般施設關係ノ物價及物資ノ調査ニ關スルコト

- 六 關係部外會社ノ工場管理及經營狀態調査ニ關スルコト
 - 七 海軍施設部ノ會計狀況調査ニ關スルコト
 - 八 施設系勞務者ノ給與ニ關スルコト
 - 九 海軍施設本部ニ於ケル海軍共濟組合ノ給與及事務ニ關スルコト
 - 十 統計及年報材料ニ關スルコト
- 第七條 第一部第三課ハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 築城施設及一般施設ニ關スル施設ノ計畫、審査及技術ノ指導ニ關スルコト
 - 二 築城施設及一般施設ニ關スル土木工事ノ實施ニ關スルコト
 - 三 所掌工事ノ入費概算ニ關スルコト
 - 四 築城施設及一般施設(土木關係)ノ規準、範式ニ關スルコト
 - 五 所掌事項ノ出師準備計畫及總動員計畫ニ關スルコト
 - 六 所掌事項ニ關係スル施設系技術科士官以下ノ教育及本務ニ關スルコト
 - 七 統計及年報材料ニ關スルコト
- 第八條 第一部第四課ハ左ノ事務ヲ掌ル

内 令

一九九七

0229

- 一 築城施設及一般施設ニ關スル建築工事ノ計畫、審査及技術ノ指導ニ關スルコト
 - 二 築城施設及一般施設ニ關スル建築工事ノ實施ニ關スルコト
 - 三 所掌工事ノ入費概算ニ關スルコト
 - 四 築城施設及一般施設（建築關係）ノ規準、範式ニ關スルコト
 - 五 所掌事項ノ出師準備計畫及總動員計畫ニ關スルコト
 - 六 所掌事項ニ關係スル施設系技術科士官以下ノ教育及本務ニ關スルコト
 - 七 統計及年報材料ニ關スルコト
- 第九條 第一部第五課ハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 築城及一般施設用機械ノ技術及生産ノ指導ニ關スルコト
 - 二 築城及一般施設附帶設備工事ノ計畫、審査實施、入費概算及技術ノ指導ニ關スルコト
 - 三 築城及一般施設用機械ノ制式及配當ニ關スルコト
 - 四 築城及一般施設附帶設備ノ規準、範式ニ關スルコト
 - 五 所掌事項ノ出師準備計畫及總動員計畫ニ關スルコト
 - 六 所掌事項ニ關係スル施設系技術科士官以下ノ教育及本務ニ關スルコト

0230

七 統計及年報材料ニ關スルコト

第十條 第二部第六課ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 築城施設及一般施設ニ關スル土木工事ノ研究及實驗ニ關スルコト
- 二 築城施設及一般施設(土木關係)用材料ノ研究及實驗ニ關スルコト
- 三 統計及年報材料ニ關スルコト

第十一條 第二部第七課ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 築城施設及一般施設ニ關スル建築工事ノ研究及實驗ニ關スルコト
- 二 築城施設及一般施設(建築關係)用材料ノ研究及實驗ニ關スルコト
- 三 統計及年報材料ニ關スルコト

第十二條 第二部第八課ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 築城及一般施設用機械ニ關スル研究及實驗ニ關スルコト
- 二 築城及一般施設附帶設備ノ研究及實驗ニ關スルコト
- 三 統計及年報材料ニ關スルコト

(内令提要卷一、三四ノ四頁參照)

内 令

一九九九

0231

内令

二〇三〇

内令第九百五十號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十八年九月十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

二等潜水艦定員表其ノ二中「第八十三表」ヲ「第八十二表ノ二」ニ改ム

二等潜水艦定員表其ノ三ヲ別表ノ如ク定ム

海防艦定員表中「第八十三表ノ二」ヲ「第八十三表」ニ改ム

(別表一葉添)

(内令提要卷二、四一八ノ七〇頁参照)

内令第九百五十號

内令第九百五十一號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年九月十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0232

内令

二〇〇二

右警備潜水艦ト定メラル

昭和十八年九月十六日

吳鎮守府在籍

呂號第五百潜水艦

海軍大臣 嶋田繁太郎

0234

二等潜水艦定員表 其ノ三

考 備	計		乗 組 中 中 少 少 尉 尉 (機) (水)	乗 組 中 少 少 佐、大 尉 尉	潜水艦長 少 佐	第 五 百 號	呂 號	第 五 百 號	呂 號										
	特務士官	士官								二人	四人	兵	下士官	准士官	主計兵	水機兵	工機兵	兵曹	機關兵曹長
一 乗組少佐、大尉ノ中一人ハ水雷長兼分隊長、一人ハ機關長兼分隊長ニ充テ乗組中少尉ハ航海長ノ職務ヲ主トシテ行ハシムルモノトス	二 在役潜水艦ニハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ乗組トシテ本定員ノ二倍以內ノ乗員ヲ置ク	三 本表ノ外潜水隊ニ編入セラレザル潜水艦ニハ主計兵曹一人ヲ増加ス	一 一	一 二	一														
			二 九 十二	一 十 十二	一														



昭和十八年内令第九百五十二號別冊

機關指揮裝置制式

0236

機關指揮裝置制式

第一章 總 則

第一條 本制式ハ艦艇及特務艦艇ノ推進機關指揮操縱上必要ナル諸裝置ノ設備要領ヲ規定ス

雜役船ニ在リテハ必要ニ應ジ本制式ヲ準用スルモノトス

第二條 機關指揮裝置ハ機關ノ全般ヲ指揮スルニ適應スルト共ニ其ノ一部ニ被害ヲ生ジタル場合ニ在リテモ機關各部ノ指揮ニ遺憾ナカラシムルヲ主眼トシテ設備スルモノトス

第三條 特ニ重要ナル場所ノ外補助裝置ヲ設ケザルモノトス

補助裝置ハ成ルベク主裝置ト同時ニ破壊セラレザル如ク設備スルモノトス

第四條 機關指揮裝置ノ機構及裝備ハ概ネ左ノ各號ニ適合セシムルモノトス

- 一 震動、衝撃等ニ因リ機能ノ低下又ハ變調ヲ來サザルコト
- 二 雨露、濕氣、海水等ノ浸潤ニ因リ機能ヲ阻害セラルル虞ナキコト
- 三 諸器具ノ配列ハ確實、迅速ナル操作ニ適シ且其ノ監視容易ナルコト

第二章 指揮所及待機所

第五條 指揮所ハ左ノ通トス

- 一 公試排水量五、〇〇〇噸以上ノ軍艦

0237

- (イ) 運轉指揮所
- (ロ) 豫備運轉指揮所
- (ハ) 機械部指揮所
- (ニ) 豫備機械部指揮所
- (ホ) 罐部指揮所
- (ヘ) 豫備罐部指揮所
- (ト) 機械部分掌指揮所
- (チ) 罐部分掌指揮所

但シ豫備機械部指揮所及豫備罐部指揮所ハ戰艦、巡洋艦及航空母艦以外ニ對シテハ之ヲ設ケザルモ
ノトス

二 公試排水量五、〇〇〇噸未満ノ軍艦及驅逐艦、海防艦、水雷艇

- (イ) 運轉指揮所
- (ロ) 豫備運轉指揮所
- (ハ) 機械部分掌指揮所
- (ニ) 罐部分掌指揮所

0238